

5 市民と協働の国民・県民運動の展開

1. 市民やNPOと協働した国民・県民運動の推進

- (1) 設立20年を経過し、新たな運動展開や理念の共有を図るため、長期的展望に立って基地のない日本と神奈川をめざすロードマップ、沖縄とならぶ最大基地県神奈川のナショナルセンターとしての連合神奈川平和ビジョンを追求していきます。当面、平和や基地問題に関わる学習・活動を積極的に展開していきます。具体的には、基礎自治体と連携した核兵器廃絶運動をピースウィーク期間（8月初旬）に地域主体で取り組む、県内米軍施設の縮小とまちづくりなど地元自治体を巻き込んだ学習機会を創出する、日米地位協定に関わる学習機会を設け構成組織全体の理解を深める、等の活動に着手していきます。
- (2) 育林祭・クリーンキャンペーンなどの環境啓発活動や人権啓発活動についても、自治体との連携活動として一層積極的に推進します。
- (3) 第82回かながわ中央メーデーは、2011年4月29日（金・祝）として実行委員会で協議していきます。設定したテーマやコンセプトに沿って、一体感のあるメーデーを構築します。

2. ボランティア活動など社会活動の取り組み

- (1) Vネットの中核的テーマである災害分野活動については、引き続き連合神奈川が主体となって産別との連携を強化していきます。
 - ①帰宅困難訓練の県内コース実施に際し、一層充実した地域と市民活動の連携をめざします。
 - ②大規模自然災害時に備え、市民団体との連携も含め新設した「災害ボランティア人材バンク」を拡大・強化していきます。
 - ③ボランティア養成講座を新規人材の育成機会として位置づけ、浸透させていきます。
- (2) Vネットの新機軸である災害分野以外の独自社会貢献事業についても、連合の地域組織を活かした顔の見える活動となるよう留意しながら展開していきます。
- (3) 上記について、Vネットの活動を支える連合神奈川と県労福協の役割分担を明確化していきます。

3. 労働者福祉活動の推進

- (1) 労働者福祉活動の充実を期し、神奈川県労働者福祉協議会、中央労金神奈川県本部、全労済神奈川県本部を中心に連携強化に努めます。
- (2) 全地域連合単位での、地域労福協組織の確立に向けた取り組みを引き続き支援します。併せて、労働福祉センター（ワークピア横浜）や労働者信用基金協会、いこいの村あしがら、エル・ビー・エー、全国障害者福祉援護協会等と連携を図り、労働者福祉の向上に努めます。